

社員の
「いきいき」の
ために

働きやすい環境づくりに取り組みます。

社員がいきいきと安心して働ける職場づくりのために、さまざまな取り組みをしています。

雇用状況

2010年3月31日現在の社員数は1,316人で、5年前に比べると効率化や体質の強化によるスリム化の推進により、158名少なくなりました。一方で、2005年4月1日からシニアパートナー制度を導入し、定年後も活躍できる体制を整えています。

●社員数内訳

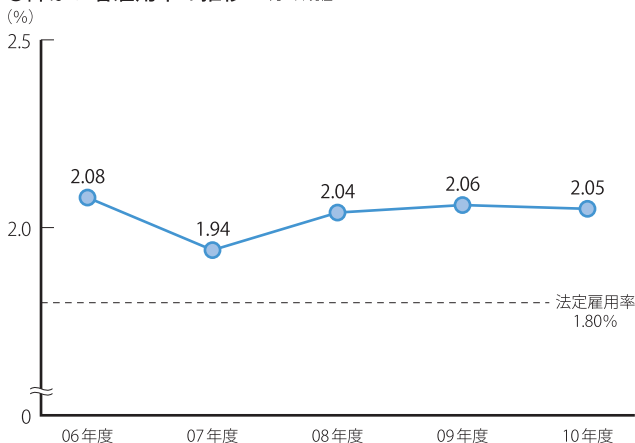
		2005年3月31日		2010年3月31日	
		人数	構成比	人数	構成比
社員総数	男性	1,302名	88.3%	1,166名	88.6%
	女性	172名	11.7%	150名	11.4%
	合計	1,474名		1,316名	
うち 管理職数	男性	270名	99.3%	299名	98.7%
	女性	2名	0.7%	4名	1.3%
	合計	272名		303名	

障がい者の雇用促進

障がい者の雇用にあたっては、職業能力の把握、障がい者特性に応じた職域の確保・開発、作業施設の改善など、多くの配慮すべき点があります。これら一つひとつを改善し、解決していくことで、障がい者がその能力を十分に発揮できる職場、健常者とともに職業生活に参加し、働く生きがいをみだすことができる職場を確保するべく取り組んでいます。

なお、2010年4月1日現在の障がい者雇用率は、2.05%と現行の法定雇用率1.80%を上回っています。

●障がい者雇用率の推移 ※4月1日現在

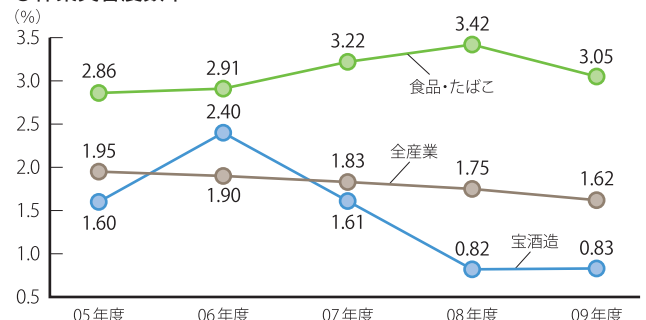


安全衛生管理の取り組み

社員が安全に働ける環境を整えるために安全衛生委員会を設け、社員の危険予知能力や安全意識の向上に向けた活動をしています。工場では「労働安全衛生マネジメントシステム」に基づき、危険が潜む作業や設備を明らかにして事故の防止に努めています。

2009年度の休業災害は1件で、今後も事故発生原因と対策の水平展開を図り、労働災害ゼロ化をめざしていきます。

●休業災害度率



※度率率：災害発生頻度を表す指数で、延べ100万労働時間あたりの災害件数
(資料出所：厚生労働省 労働災害動向調査)

安否確認システム

災害発生時において、社員およびその家族の安否や現地状況について、迅速に把握し適切な初期対応につなげるために、携帯電話のメール機能などを利用した安否確認システムを導入しています。



携帯電話のメール機能にて安否確認を行います

業務革新の取り組み

宝酒造では業務革新として事務・営業系業務を徹底的に見直し、その効率化に取り組んでいます。その成果として、所定外労働の削減と定時退勤化が進んでおり、社員のワークライフバランスの向上にも寄与しています。

また書類の整理や不要書類の廃棄を行いオフィスのクリーン化を進めたことにより、一層快適な職場環境が実現しました。



クリーン化前



クリーン化後

健全な労使関係

宝酒造はTaKaRa労働組合と労使の信頼を基盤に健全な労使関係を構築しています。

労使協議会や各種労使専門委員会を開催し、経営内容に関する報告や労働条件について協議を行っています。

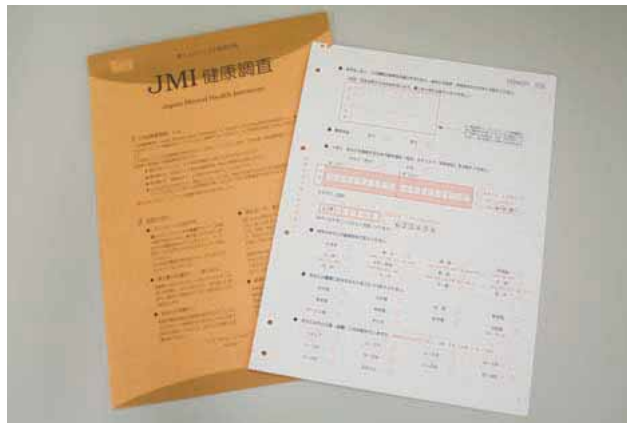
人権尊重・セクシュアルハラスメントの防止

社員の人権を尊重し、差別のない明るくいいきと働くことができる職場づくりをめざし、入社時や管理職研修において、人権に関する啓発活動を実施しています。採用活動においても、男女雇用機会均等法を遵守するとともに、人権に関する事項を徹底するため、採用にかかわる社員に、マニュアル等により事前の説明を行っています。

また、セクシュアルハラスメント防止に向けて、事業場ごとに相談・苦情の窓口、ならびに苦情処理委員会を設置しています。

メンタルヘルスの取り組み

社員の心の健康状態については、宝グループ健康保険組合を通じて、外部機関の診断を定期的に受けられるようになっています。診断結果は本人のみ通知され、希望に応じて電話や面談によるメンタルカウンセリングを受けることができます。



心の健康の調査票

VOICE



TaKaRa労働組合から
TaKaRa労働組合 中央執行書記長
大館 洋一

労働条件の向上と働きがいを得るための活動

TaKaRa労働組合は、健全な労使協調路線のもと、賃金や労働時間などの直接的な労働条件の向上のみならず、働きがいを得られる職場をめざして活動しています。2007年～2013年の長期計画「サンシャイン2013」においては、「仕事と私事のバランスがとれた毎日～オンもオフも充実させよう～」「心身ともに元気な毎日～健康で生き活きたした生活を送ろう～」「目標をもって熱くなれる毎日～達成感・満足感を追い求めよう～」「信頼しあえる仲間がいる毎日～仲間とともに喜びを分かちあおう～」という4つの毎日を実現していくことをめざしています。